

(様式1)
報道資料提供

提供日	令和 5 年 10 月 3 日 (火)
発表事項 (タイトル)	SDGs未来都市×ブルーカーボンに取り組む阪南市 私たちの海が、『阪南セブンの海の森』として自然共生サイト認定・OECMに登録！
広報ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・これまで、阪南市とセブンイレブン記念財団は、森、里、川、海的环境保全を目的に「阪南セブンの海の森協定」を締結し、2018年よりセブンイレブン記念財団が全国に先駆け展開している「セブンの海の森」活動の第1号として、本市の沿岸域を舞台に、海岸の清掃活動及びアマモの再生等の活動等を行っています。 ・また、現在、我が国では、陸域及び海域でそれぞれ30%以上の区域で生態系の保全を行う取組（「30 by 30」）が進められています。 ・こうした中、この度、「阪南セブンの海の森」においてセブンイレブン記念財団・NPO法人大阪湾岸域環境創造研究センター及び本市が申請した保全活動が、沿岸域では全国でも数少ない先駆的な事例として、環境省より「自然共生サイト」として認定され、国際データベース「OECM」に登録されることとなりました。 ・今後、この登録を契機に環境保全や生物多様性保全の先進的な取組事例として広く国内外に本市の取組をPRし、本市の知名度や地域ブランド力の向上、観光や研究等による関係人口、交流人口の拡大を通じた地域活性化、さらにはSDGsの取組の推進等を図ります。
要旨・経緯	<p>【自然共生サイトとは】 昨年12月に採択された「昆明・モントリオール生物多様性枠組」において、2030年までにネイチャーポジティブへ向けた緊急行動が合意され、陸域及び海域でそれぞれ30%以上（30 by 30）の区域で生態系の保全を行うため、民間の取組等によって生物多様性の保全に貢献している区域（里山里海、環境教育に活用されている森林等）が「自然共生サイト」として国（環境省）より認定され、認定された「自然共生サイト」のうち保護区域と重複していない区域を「OECM」国際データベースへ登録されます。</p> <p>【我が国の30by30の現状】 国立公園などの保護地域として、陸域：20.5%、海域：13.3%となっており、今後、陸域および海域それぞれにおいて30%以上の保全するための取り組みが求められています。</p>
添付資料	
担当課	阪南市 未来創生部 シティプロモーション推進課 担 当 前田・重成・楠本 電 話 072-489-4510 (内線2339) FAX 072-473-3504